

第14回 国際社会性昆虫学会議

2002年7月28日～8月3日
札幌・北海道大学

アナンスメント

第14回国際社会性昆虫学会議は、日本学術会議と日本昆虫学会の共同主催及び、日本動物学会、日本植物学会、日本生態学会、日本応用動物昆虫学会、日本環境教育学会等の後援のもとに、北海道大学において開催される。

この会議は国際社会性昆虫学会 (International Union for the Study of Social Insects: IUSI) が4年ごとに開催する国際会議で、「社会性昆虫と遺伝子」をメインテーマとして、ミツバチ、スズメバチ、アシナガバチ、アリ、シロアリなどの社会性昆虫の生理、発生、遺伝、行動、生態などに関する研究成果が発表される。1952年パリにおいて第1回会議が開催されて以来13回、49年の歴史を有しており、今回の第14回会議が日本で初めて開催される。シンポジウム会場は北海道大学、オープニングセレモニー、パンケットは京王プラザホテル札幌で、7月28日から8月3日まで開催される。会議の使用言語は英語である。

参加登録

大会参加は、ホームページ (URL: <http://iussi.coop.hokudai.ac.jp>) から直接登録するか、ファイナルアナウンスメントの登録用紙を大会事務局に送付する。

世界の著名な社会性昆虫の研究者が、海外から300名、国内から100名が既に参加登録を済ませている。

参加登録料

登録料 (4月1日以降)

一般参加者 38,000円 学生 25,000円

会議プログラム

開会式講演

松本忠夫 (IUSI 会長)

L. R. Jeanne

U. Maschwitz & E. Kaufmann

プレナリー講演

- D. C. Queller & J. E. Strassmann: 細胞性粘菌の社会における利他性と争い
 J. E. Duffy: テッポウエビの生態とその真社会性の進化
 青木重幸: アブラムシ社会において兵隊カストの利他的分散が意味すること
 T. D. Seeley: コミュニケーションの研究はどこまで働き蜂の心に迫ることができたか
 久保健雄: ミツバチ脳機能への分子生物学的アプローチ
 N. E. Pierce: 共生から寄生へ: シジミチョウ対アリの進化
 N. K. Slessor: 意外に複雑な社会性を調節する化学物質群
 J. J. Boomsma: 社会的共生と社会寄生: 種レベルでのせめぎ合いと協調
 M. Kaib: 非ハチ目社会性昆虫における争いと協調
 D. E. Wheeler: カストの分化と発現: 新しい解析手法を駆使して

シンポジウム

シンポジウムは以下に示した33のテーマで、250以上の口頭発表が予定されている。

1. 社会行動の至近メカニズム: 分子から社会まで (Z. Y. Hunag & 久保健雄)
2. カストにかかわる表現型多型のメカニズムと進化 (三浦 徹 & J. D. Evans)
3. 認識と学習, その分子のおよび行動学的アプローチ (B. H. Smith & 佐々木正己)
4. 社会性昆虫における情報化学物質とコミュニケーション (J. Billen, R. K. Vander Meer, 山岡亮平 & 笹川浩美)
5. コロニーを組織化するメカニズム (M. Beekman)
6. 社会性昆虫の脳における情報処理 (R. Menzel & W. Gronenberg)
7. 個体の意志決定とその生態学的帰結 (D. M. Gordon, 中田兼介 & 坂田宏志)
8. 昆虫社会における淘汰のレベル (J. M. Herbers)
9. 社会性の起源と喪失: 分子系統学からの視点 (B. J. Crespi & M. P. Schwarz)
10. 社会性昆虫—微生物間の共生および対抗関係 (U. Mueller & J. J. Boomsma)
11. 社会寄生: 系統地理と寄主—寄生者共進化系 (A. Tinaut, D. Ortius Lechner & S. Foitzik)
12. シロアリの分子生態学, 分類学, 集団遺伝学: 進化から防除まで (J.-L. Clement, C. Husseneder & E. L. Vargo)
13. 社会性昆虫のコロニー創設 (J. H. Fewell & 増子恵一)

14. 社会性の進化における個体および性淘汰の役割 (粕谷英一 & R. Gadagkar)
15. 順位行動と闘争 (辻 和希, T. Monnin & F. L. Ratnieks)
16. 集団遺伝学とゲノム学 (M. Chapuisat & J. D. Parker)
17. 分業 (大谷 剛 & A. B. Sendova-Franks)
18. 社会性昆虫の系統学 (J. M. Carpenter & 小島純一)
19. アリの系統学 (R. Savolainen & T. R. Schultz)
20. ミツバチの多様性と進化 (N. Koeniger & S. Wongsiri)
21. 社会性クモ類 (D. R. Smith)
22. ハチ目, シロアリ目以外の昆虫にみる社会性 (J. Choe, 斎藤 裕, 松本忠夫 & D. Smith)
23. 共生と種間相互作用 (伊藤文紀, V. Witte & E. Kaufmann)
24. バーチャル社会性昆虫 (D. Agosti)
25. 生物資源としての社会性昆虫: 食料, 指標から生態系での役割まで (P. Kenan & 小野正人)
26. 社会性昆虫の害虫としての側面とその管理 (S. B. Vinson & R. E. Gold)
27. 資源配分と社会性を越えた闘争 (R. Gadagkar & 粕谷英一)
29. 昆虫の社会生物学: 問題点と今後の展望 (C. K. Starr & N. R. Franks)
30. 多様性とその保全 (橋本佳明 & J. Fellowes)
31. 社会性カリバチの自然史 (小島純一, J. W. Wenzel & 山根正気)
32. 微生物における社会進化 (J. E. Strassmann)
33. ビデオ上映

ポスター発表

口頭発表以外に約300のポスター発表が予定されている。

見学旅行

7月31日(水)に見学旅行が実施される。有珠山, 洞爺湖, 昭和新山を見学する。見学旅行には参加料として10,000円を支払うと参加できる。

その他のプログラム

歓迎レセプション: 7月28日(日)開会当日の夕刻から開催される。

お別れパーティー: 8月3日(土)18:00から京王プラザホテル札幌で開催。パーティーには10,000円を支払うと参加できる。

宿泊・航空券の申込み

申込締切日: 6月28日(金)17:00まで

問い合わせ先: 北海道大学生協同組合旅行事業部 学会イベントサービス 担当, 鏡, 高橋
電話 011-709-1392, FAX 011-746-8106
E-mail gakkai@coop.hokudai.ac.jp

イブニングセッション

28. 社会性アブラムシの進化: カスト分化の生理学と分子生物学 (深津武馬, W. A. Foster & 秋元信一)

第14回国際社会性昆虫学会議日程

	午前	午後	夜
7月28日(日)	開会式	開会式講演	レセプション
7月29日(月)	基調講演, シンポジウム ポスター	シンポジウム ポスター	イブニングセッション
7月30日(火)	基調講演, シンポジウム ポスター	シンポジウム ポスター	IUSSI委員会
7月31日(水)	エクスカージョン		
8月1日(木)	基調講演, シンポジウム ポスター	シンポジウム ポスター	イブニングセッション
8月2日(金)	基調講演, シンポジウム ポスター	シンポジウム ポスター	イブニングセッション
8月3日(土)	基調講演, シンポジウム ポスター	シンポジウム ポスター	バンケット